

FIM 認知項目 簡易指標

Copyright 2020 RehabiliPlus Inc. All rights reserved.

理解		(聴覚、視覚の理解をみる。理解したあとの判断は問わない)
自立	7	問題なし
	6	新聞やテレビの話題を理解することができる。しかし軽度難聴などあり。
介助	5	基本的な欲求(食事・排泄・睡眠など)の日常会話は理解できる。
	4	「投薬を望まれますか?」ではなく「薬がほしいですか?」と言葉を選ぶ必要がある。
	3	「痛いですか、痛い?」など強調語を用いた短い句で話す必要がある。
	2	3に加えてジェスチャを必要とする。
1	2に加えて、大きめな声ではなく、非常な大声で話す必要がある場合など。	

表出		(わかりやすい話し方か)
自立	7	問題なし
	6	新聞やテレビでの話題を長文で話すことができるが、多少の話しにくさがある。
介助	5	基本的な欲求(食事・排泄・睡眠など)を長文で話すことができる。
	4	基本的な要求を「お茶をください」など短い文章で話せるが、時々確認が必要。
	3	基本的な要求を周りの人間が半分以上理解できない。
	2	一語、例えば「ご飯、おしっこ」などのみの表出。
1	全く表出できない。	

社会交流		(自分と他人の欲求をどう処理しているか。迷惑をかけていないか)
自立	7	集団の中で適切な行動ができる。
	6	行動コントロールのために服薬し、適切に振舞える。
介助	5	訓練を拒むことが、1割ある。(看護師、ヘルパーのケアの拒否を含む)
	4	訓練を拒むことが、2割ある。(看護師、ヘルパーのケアの拒否を含む)
	3	訓練を拒むことが、5割ある。(看護師、ヘルパーのケアの拒否を含む)
	2	訓練を拒むことが、5割以上ある。(看護師、ヘルパーのケアの拒否を含む)
1	夜間せん妄で同室者が眠れない。または、日中常に興奮状態にある。または、全く自発行動がみられない。	

問題解決		(日常生活で合理的かつ安全にタイミングよく行動できるか)
自立	7	全て一人で解決できる。
	6	手助けなく、服薬管理や退院計画に参加できる。
介助	5	家計や退院計画について介助を要する。
	4	必要な時に助けを求められないことが2割ある。(ナースコールを押さないなど)
	3	必要な時に助けを求められないことが3~5割ある。(ナースコールを押さないなど)
	2	助けが必要な時にほとんどナースコールを押さずに一人で歩こうとする。電話がかけられないなど。
1	全て一人で解決できない。	

記憶		(人、日課、依頼の実行をみる)
自立	7	自立
	6	メモリーノートを用いて自立し、問題が生じていない。
介助	5	看護師が作った予定表を見ることをたまたに忘れて、1割未満の機会で声掛けが必要。
	4	看護師が作った予定表を見ることをたまたに忘れて、2割の機会で声掛けが必要。
	3	療法士(人)の名前は出ないが認識はしていた。訓練(日課)を覚えているが正しい順番ではない(依頼の実行ができない)。
	2	療法士は認識しているが、訓練を覚えておらず、実行できない。
1	療法士を認識せず、訓練を覚えておらず、実行できない。	